

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	新潟県	事業実施主体	南魚沼市	地域再生計画名	「自然・人・産業の和で築く安心の南魚沼まちづくり計画」
計画期間	令和3年度～令和9年度	評価責任者	南魚沼市 建設部長、南魚沼市 産業振興部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	R元	年度	中間実績	基準年度	R元		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	高度担い手農家数（経営耕作面積7ha以上の稲作農家数）の増加	141戸	R元	144戸	R5	163戸	148戸	R9	○	2	1	中間目標値を上回っており、目標達成の見込みである。
	指標2	観光交流人口の増加（観光入込客数の増加）	326万人	R元	360万人	R5	293万人	400万人	R9	×	2	1	中間目標値を下回っているが、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、今後は増加する見込みであり、目標達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
		計画	中間年度(R5)	最終実績見込み									
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2,720m	1,796m	2,720m	路線延長から見る進捗率は66%と当初の計画通りに進捗しており、引き続き計画に即した整備を目指していく。								
	農道整備事業（整備延長）	3,000m	2,200m	3,000m	当初の計画に対し、路線延長から見る進捗率は73%と順調に進んでいる。引き続き計画に即した整備を目指していく。								
	林道整備事業（整備延長）	35m	0m	35m	令和6年度から事業開始となる。計画に即した整備を目指していく。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	和歌山県みなべ町「南高梅」とのコラボによる南魚沼産コシヒカリのブランド力強化	南魚沼産コシヒカリのブランド力の強化			日本一の高品質・良食味米を誇る南魚沼産コシヒカリと日本一の梅産地である和歌山県みなべ町が、「おにぎりのご飯と具材」という仲でタッグを組み、販売促進とブランド力強化に取り組んでいる。								
	南魚沼「本気（まじ）井（どん）」キャンペーン事業	南魚沼産コシヒカリのブランド力向上と交流人口の拡大			南魚沼産コシヒカリのブランド力向上と交流人口の拡大を目的とした食によるまちおこし事業を実施している。								
	食によるスポーツイベント（グルメマラソン・グルメライド）等による地域の活性化	食によるスポーツイベント等による地域の活性化			観光交流人口の増加による地域活性化を目指した食によるスポーツイベントを実施している。								
	観光拠点施設の無電柱化の推進（無電柱化推進事業計画補助）	観光振興を目的とした無電柱化の実施			景観形成による観光振興を目的とした無電柱化事業を「魚沼の里」の周辺市道で行い令和5年度に事業完了。								
③評価方法	地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
④中間評価の公表方法	南魚沼市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備、農道整備、林道整備を一体的に行い道路ネットワークを構築することにより、農業基盤としての交通環境の利便性や安全性の向上を図り、高度担い手農家数の増加を目指している。また、主要観光拠点の周遊ルートや地域の飲食店等と連携したスポーツイベントのコースとして有効活用を図り、観光交流人口のさらなる増加を目指している。指標1は目標を達成している。指標2は、新型コロナウイルス感染症の影響により中間目標は達成していないが、5類に移行したことにより観光交流人口は今後増加する見込みである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況				有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円				市道の累計事業費がR7に変更前計画を超えるので今年度軽微な変更を行う。								
⑦今後の方針等に対する対応													